

2019年1月25日

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

## 外航貨物海上保険の保険設計にAIを導入

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、専門性が高く、高度な保険引受ノウハウを必要とする外航貨物海上保険のプラン設計および保険料計算を行うAI（人工知能）を開発しました。2019年10月を目処に本AIを搭載した保険設計ツールの活用を開始します。

### 1. 背景・経緯

外航貨物海上保険は、国際貿易時に海上または航空輸送される貨物の損害を補償する保険です。本保険は、専門性が高く、保険引受時に輸送する貨物の種類や貿易ルート、貨物ごとのリスクに応じた保険設計を行う必要があることから、専門的なノウハウを有する社員が主に保険設計を行っていたため、お客さまのニーズを捉えた最適な保険設計に一定の時間を要していました。

この課題解決のため、24時間オンライン上でプラン設計や保険料計算が可能なAIを開発することで、タブレット端末やスマートフォンを利用してお客さまにスピーディーに保険提案できる態勢を整え、提案内容の高度化と迅速化を同時に実現します。

### 2. 概要

本AIは、グループ会社のSOMPOリスクマネジメント株式会社（社長：布施 康）が開発しました。損保ジャパン日本興亜が有する外航貨物海上保険の約800万件におよぶ過去の契約データをAIに機械学習させることにより、独自のアルゴリズム分析で事故発生確率や事故発生時の損害額等も予測し、最適なプラン設計・保険料計算・見積書提案までの一連の作業を機械化・自動化したものです。

### 3. 今後について

2019年10月を目処に、本AIを搭載した専用の保険設計ツールの利用を開始する予定で、2020年度中に全国の損保ジャパン日本興亜の代理店にも展開する予定です。これにより、専門的な保険引受ノウハウを代理店と共有することが可能となるため、保険の提案内容の高度化と迅速化を実現し、さらなるお客さま満足度の向上を目指します。

以上